

株主通信



KDDI 株式会社
証券コード：9433

CONTENTS

- P01** 2013年3月期のふりかえり
- P03** 社長が語る
これからのKDDI
- P07** NEW ARRIVAL—新着情報—
夏モデルが一挙4機種登場
多機能高スペックモデルが集結
- P09** グループの魅力をおとどけ!
KDDIを歩く vol.1
- P10** 株主さま広場
- 裏表紙 第1回
KDDIのCSR

「第29期定時株主総会」のご報告

2013年6月19日（水）に開催いたしました当社「第29期定時株主総会」における決議事項についてご報告申し上げます。下記すべての議案が原案のとおり承認可決されました。
ご出席または、議決権をご行使いただいた株主さまには、お礼申し上げます。

決議事項 第1号議案 剰余金の処分の件 | 第2号議案 定款一部変更の件 | 第3号議案 取締役12名選任の件

配当金についてはP06を、選任された取締役につきましては裏表紙をそれぞれご参照ください。



KDDIの企業情報WEBサイトではタイムリーな情報発信を行っています。最新の情報やこの冊子より詳しい情報などはWEBサイトからご覧ください。

<http://www.kddi.com/corporate/>

KDDI 企業情報

検索



2013年3月期のふりかえり

2012年4月1日から2013年3月31日まで

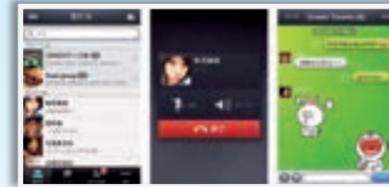
活動や業績の詳細な情報は表紙をご参照いただき、当社WEBサイトをご覧ください。

アドレス <http://www.kddi.com/corporate/>

…… ページ下欄の「用語解説」をチェック!

- 4 Apr. ● [EV-DO Advanced] 技術を導入
auケータイのデータ通信混雑を緩和
- 5 May ● auスマートフォンおよびauケータイの夏ラインナップを発表
今年の最新機種をP08で紹介
● 第3期中期環境保全計画 [KDDI GREEN PLAN 2012-2016] を策定
裏表紙ではこの取り組みの一部を紹介

- 7 July ● 無料通話・無料メールスマートフォンアプリ [LINE] を展開するNHN Japanと業務提携 [auスマートパス] 限定 [LINE] を2012年9月から提供開始
P07でご案内



- 8 Aug. ● 公衆無線LANを用いた災害対策強化を発表 [au Wi-Fi SPOT] を大規模災害発生時に無料開放

- 6 June ● 北京市内にデータセンター「TELEHOUSE」の新設を発表、グレーターチャイナ市場への展開を加速

- 9 Sept. ● 次世代高速通信規格LTEによる「4G LTE」サービスの提供を開始
● iPhone 5の全国発売を開始



- 11 Nov. ● 「Smart TV Box」の提供を開始 Android™4.0を搭載し、スマートフォンやタブレットとも連携するケーブルテレビ用の最先端セットトップボックスを商用化
● iPad miniおよび第4世代iPadを発売



- 12 Dec. ● 法人のお客様に「KDDI TeleOffice」の提供を開始、タブレットを活用した気軽なビデオ会議で業務を効率化

- 1 Jan. ● 100カ所目の海外拠点 [KDDI ミャンマー] を設立

- 2 Feb. ● 当社およびNJ株式会社による株式会社ジュピターテレコムの子会社等に対する共同公開買付けを開始、その結果2013年4月17日付で同社を連結化

- 10 Oct. ● 「au ID」登録者数が1,000万を突破
● auスマートフォンの冬ラインナップを発表

- 3 Mar. ● 「auスマートパス」会員数が500万を突破
P07でご案内

携帯電話サービス顧客満足度

No.1



株式会社J.D. パワー アジア・パシフィックによる「2012年日本携帯電話サービス顧客満足度調査SM」において、総合満足度第1位を受賞いたしました。今後もより多くのお客さまにご満足いただけるよう、よりよい商品・サービスの提供に取り組んでまいります。

出典：J.D. パワー アジア・パシフィック 2012年 日本携帯電話サービス顧客満足度調査SM。日本国内在住の携帯電話利用者 計31,200名からの回答による。 japan.jdpower.com

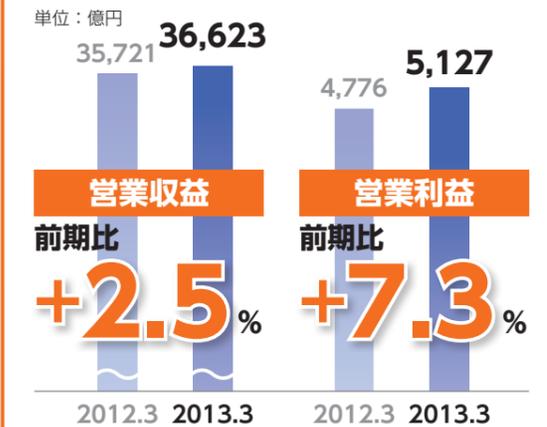


業界史上最高101万増

2013年3月期のMNP純増数は101万と業界史上最高となりました。



auスマートバリュー 世帯数 212万 (前期は44万) au契約数 386万 (前期は66万)
auスマートパス 574万 (前期は56万)
スマートフォン市場の拡大とともに、多彩なコンテンツをマルチデバイスでご利用されるお客さまが増加しています。



営業収益 36,623億円 (前期比 2.5%増)
営業利益 5,127億円 (前期比 7.3%増)
端末販売収入増やスマートフォンシフトに伴うデータ通信料収入の増加等により、増収増益となりました。

用語解説

「EV-DO Advanced」技術

無線基地局の混雑状況をリアルタイムに監視し、混雑している基地局配下の携帯電話を、混雑していない近隣局に接続させる技術。

グレーターチャイナ

アジア新興国地域のうち、中国語を主要な公用語とする経済圏として、中国・香港・台湾・マカオをまとめて指す言葉。

MNP (Mobile Number Portability)

携帯電話の番号を変えずに、契約している電話会社を変更できる仕組み。MNP転入超過数は、他の電話会社への転出数を差し引いた契約者の純増数。

Wi-Fi

無線LANを通じてブロードバンド回線を利用する通信方式で、快適なインターネット接続が可能となる。

LTE (Long Term Evolution)

3G回線の通信速度を高速化した、新たな規格。家庭向けブロードバンド回線に匹敵する高速データ通信が可能となる。

セットトップボックス

テレビに接続し、インターネットを活用したさまざまなサービスを受けられるようにする機器。



社長が語るこれからのKDDI

3M戦略の推進による「成長起点の年」となったKDDIの2013年3月期。

お客様の利便性向上・サービス拡充に向けた

取り組みを振り返るとともに、

次の3年間の成長計画についてご説明します。

2013年6月19日

代表取締役社長 田中 孝司

3M戦略を通じて収益モデルを大きく転換。契約数拡大など顕著な成果をもたらしました。

この2年間で、私たちは複数のネットワークを持つ強みを活かした収益モデルに転換するため、3M戦略を国内事業の軸に据えてきました。その取り組みにより、2012年3月期は、auの勢い回復と固定通信事業の増収増益による「基盤事業の立て直し」を果たすことができました。

そして、この2013年3月期は「成長起点」をテーマに掲げ、新たな国内成長戦略「3M戦略」を本格的に展開してまいりました。さらに業績面では、期初に掲げました連結営業利益5千億円、au通信ARPU（auの1契約当たり平均通信料収入）の月次ベースでの底打ち・反転のいずれの目標も達成いたしました。3M戦略のベースとなっているのは、「auスマートバリュー」（以下、スマートバリュー）と、「auスマートパス」（以下、スマートパス）です。スマートバリューは世帯数（FTTH等で212万、au契約数で386万まで拡大し、スマートパスも500万を超える会員数となり、多くのお客様の「ご支持をいただいております。」

お客様にもっと多くの楽しさ、快適さを！さまざまなサービスの拡充に力を入れています。

私たちは3M戦略を通じて、お客様の利便性を高めるさまざまなサービスの拡充に力を入れています。

スマートバリューでは、セレクト割引の対象となるFTTHやケーブルテレビ（以下、CATV）の提携事業者数が大幅に増加しました。FTTHサービス提供の事業者が当社グループを含めて5社、CATV提供の事業者が106社・189局と、この1年で2倍の規模に拡大したことで、より多くのお客様にスマートバリューをご契約いただけるようになりました。

スマートパスを起点としたビジネスの拡大を目指して、電子書籍が月額定額制で読み放題となる「ブックパス」をリリース。この「ブックパス」を含む各種人気サービスはiPhoneやiPadでもご利用いただけるようにいたしました。スマートフォン生活をより楽しくする各種サービスは、お客様から高い評価をいただいております。

そして昨年9月から、「4G LTE」サービスを開始し、超高速データ通信をご利用いただける通信環境をご提供しております。こうしたお客様の利便性向上につながる多角的な取り組みを今後も行ってまいります。

もっと豊かで質の高いサービスを提供するために当社グループの基盤を強化します。

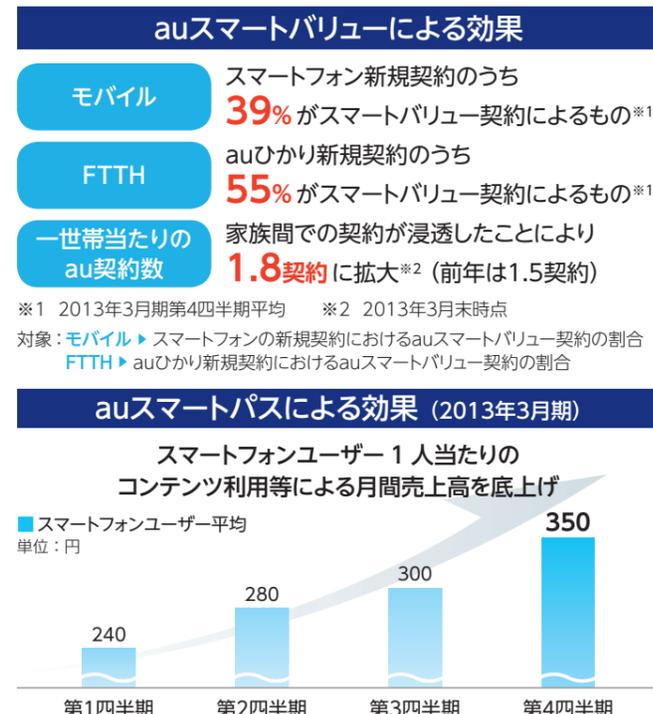
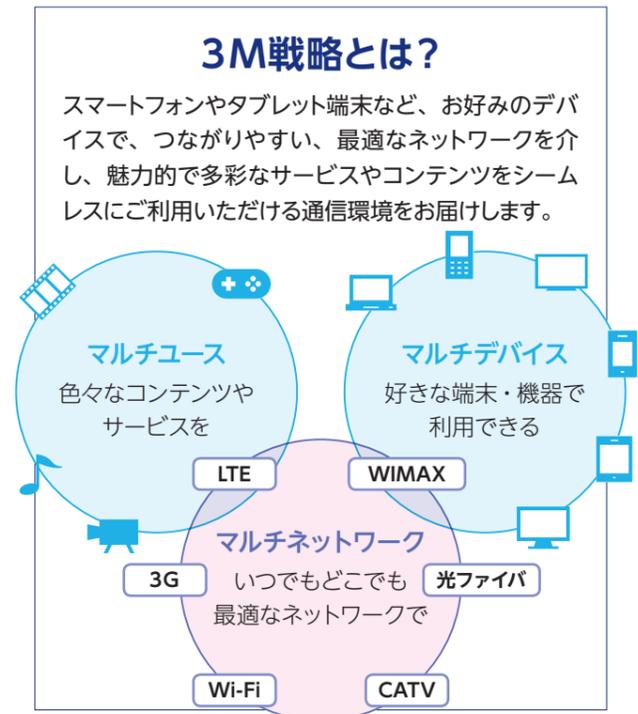
私たちは、引き続きお客様に提供するサービスの利便性や品質向上を図り、より多くのお客様にご利用いただきたいと考えております。そこで求められているのが、当社グループの基盤強化です。

本年4月17日に、日本最大のCATV事業者である株式会社ジューピターテレコム（以下、JCOM）の株式を公開買付けにより追加取得し、同日付で同社を連結化しました。

今後は、当社の連結子会社であるジャパンケーブルネット株式会社との統合も視野に入れ、CATV事業での顧客基盤の拡大を図るとともに、JCOMのメディア事業と当社の通信事業の融合により、当社の成長戦略である3M戦略におけるシナジーの拡大を図ってまいります。

また、国内法人のお客様向けサービスの拡充のために、通信を含めて中小企業のオフィス環境整備を支援する連結子会社「KDDIまとめてオフィス株式会社」の営業体制の強化を進めております。これまでの東名阪エリアに加えて、本年4月から新たに地域会社4社を立ち上げ、全国に対応した営業・サポート体制を構築することをお客様のニーズにあった、きめ細かなサービスをご提供してまいります。

このように、個人・法人問わず、お客様



次の3年間は利益成長のペースを上げながら、株主還元も強化していきます。

のご要望にお応えし、さらなる成長を図っていきます。

さて、ここからは今期から始まる3年間の事業成長に向けた取り組みについてお話しします。冒頭に述べました通り、私たちは過去2年間、基盤事業の立て直しから成長起点の確立まで着実に歩を進めてきました。そして、今期（2014年3月期）から2016年3月期までの3年間は、お客様のニーズにお応えす

次の3年に向けて

2014年3月期～2016年3月期

お客様のニーズにお応えすることを最重視

3M戦略の推進・深化
通信料収入と付加価値売上の拡大

グローバル戦略の推進
国内事業に加え成長の柱へ

持続的な利益成長と株主還元の強化

用語解説

FTTH
光ファイバーによる高速・大容量のデータ通信サービス

CATV (Community Antenna TeleVision)
同軸ケーブルを用いて、テレビ放送やインターネット接続、電話などを有線で提供するサービス。

4G LTE (4th generation LTE)
本サービス名称は国際電気通信連合 (ITU) がLTEを「4G」と呼称することを認めた声明に準じています。



2014年3月期の計画値	
営業収益	4兆1,400億円 (前期比13.0%増)
営業利益	6,300億円 (前期比22.9%増)
モバイル+固定の通信料収入 (J:COMを除く)	2兆90億円 (前期比 3.9%増)
auスマートバリュー	
世帯数	345万
au契約数	690万
auスマートパス会員数	1,000万会員

ることを最重視し、「持続的な利益成長と株主還元強化」を果たしていきます。

具体的な数値目標として、利益面は、営業利益の毎期2ケタ成長と1株当たり当期純利益の大幅成長を目指します。また株主還元は、配当性向30%超を目安に拡充し、自己株式取得についても引き続き経営の選択肢として検討いたします。

3年間の基本方針としては、まず「3M戦略の推進・深化」が挙げられます。

当社グループの強みであるモバイル+固定のスマートバリューをより多くのお客さまにご利用いただき、スマートパスをはじめとしたお客さまへの「コンテンツサービス等の充実による付加価値向上の向上、そしてこれらの相乗効果でさらに収益を最大化させる」といった方針です。

もう一つの基本方針は「グローバル戦略の推進」です。まずはアジアでグループの総力を結集し、法人のお客さま向けの「グローバルICT事業」を展開していきます。個人のお客さまを対象とする「グローバルコミュニケーション事業」についても、アメリカおよびアジアの新興国を中心に展開していきます。

海外を舞台とする新たなビジネスは今後、次々と動き出していきます。例えば本年5月8日は「KDDIグローバルM2Mソリューション」の提供を開始しました。これは、スウェーデンのM2M専門プロバイダーであるテレノールコネクション社との提携を通じて、国内法人のお客さま向けに、海外事業のサ

2014年3月期の株主還元は、年間配当額1株当たり120円、配当性向31.1%を計画しています。2002年3月期以来、連続増配を維持しており、事業の発展を支えていただいている株主の皆さまに対し、可能な限り株主還元を拡充してまいります。

また、先般実施した株式分割による投資単位の引き下げの他、事業内容をご理解いただくための施設見学会・会社説明会の開催など、個人の株主・投資家の皆さまに向けた施策に今後とも注力してまいります。

当社は、これからも持続的な利益成長と株主還元強化を両立して、株主の皆さまのご期待にこたえてまいります。そして、お客さまにご満足いただけるサービスや価値をご提供する中で世界中の人々に感動、安心、幸せ、感謝の笑顔をお届けできる企業を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

近年、国内製造業の海外生産シフトが加速する中、先進的な通信ネットワーク技術を活かし、こうしたグローバルサポートの需要も積極的に取り込んでいきます。

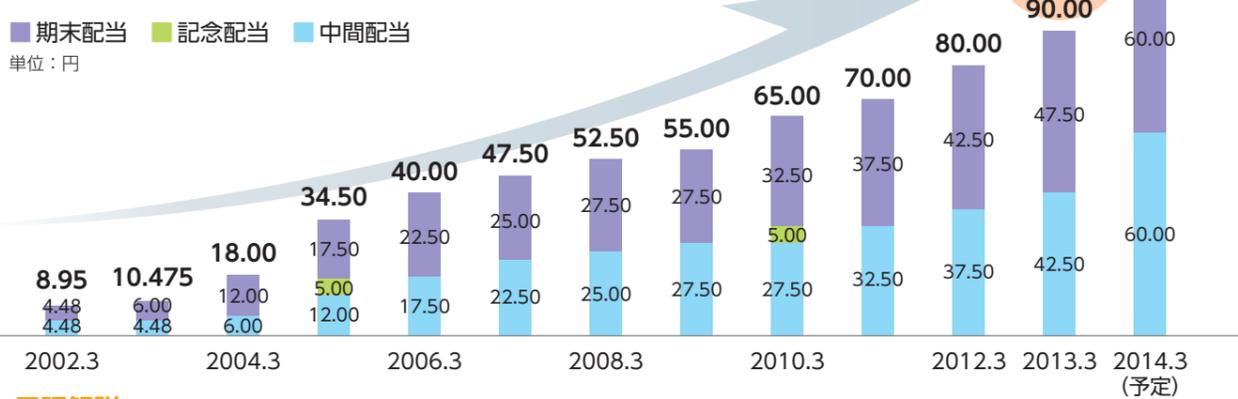
先に述べました通り、今後3年間は営業利益の毎期2ケタ成長を目標に掲げています。新たなステージの初年度となる2014年3月期の業績は、営業収益で前期比13.0%増加の4兆1千4百億円、営業利益で前期比22.9%増加の6千3百億円を計画しています。

利益成長のベースとなるのは、当社の基盤であるパーソナルセグメント（J:COMを除く）における通信料収入であり、2014年3月期は2兆円超を目指してまいります。

そのために、スマートバリューをベースにしたお客さま基盤の拡大に努め、さらに「コンテンツ利用等による付加価値向上の拡大を図るため、スマートパスを推進してまいります。なお、2014年3月末に向けて、スマートバリュー

● 分割調整後の1株当たり配当額推移（中間+期末）

2013年4月1日を効力発生日として普通株式を2株に分割する株式分割を考慮した額。
(2002年3月期中間配当～2013年3月期期末配当は全て便宜的に株式分割後ベースに引き直して記載)



用語解説

ICT (Information and Communication Technology)
情報通信技術。IT (Information Technology) に代わる言葉として広まりつつある。

プロバイダー
サービスを提供する事業者のこと。多くの場合、インターネット接続業者を指す言葉として使われる。

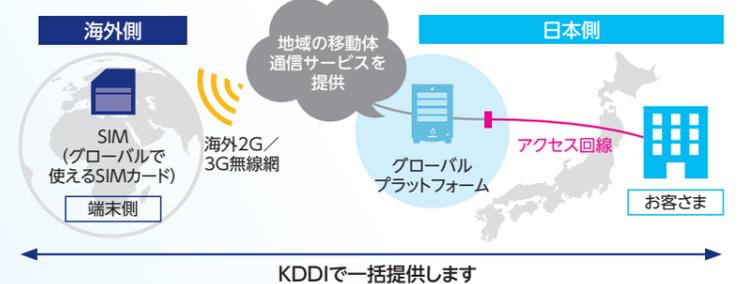
Pick up

遠隔制御で国内企業のグローバル展開をサポート 「KDDIグローバルM2Mソリューション」

M2M (Machine-to-Machine) とは、通信ネットワークにつながれた機械同士が相互に情報交換し、自動的に最適な制御を行うシステムのこと。例えば、自動販売機の遠隔管理、工場の生産システムやビルの空調管理システムの稼働監視・制御、電気・ガスメーターの自動検針などに活用されます。

KDDIは、本年5月8日に、テレノール コネクション社との提携による「KDDIグローバルM2Mソリューション」の提供を開始しました。

同社は、M2Mプラットフォームを約200カ国で提供しているM2M専門プロバイダーです。本サービスにより、国内法人のお客さまが海外で稼働させている産業機械等を、安心・安全なネットワークを経由して、日本から監視・制御することが可能になります。



「KDDIグローバルM2Mソリューション」については、下欄の「コラム」をご参照ください。

NEW ARRIVAL

新鮮なワクワクがいっぱいの新機種リリース、もっと便利・もっと楽しくカタチにする新サービス。
この情報コーナーではそんな「旬のKDDI」をぎっしり詰め込んでお届けします。

6 月6日より、個人向け会
員制サービス「auスマー
トサポート」の提供を開始しま
した。
このサービスは、ご加入時に
3150円(税込)、4カ月目か
らは月額399円(税込)をお
支払いただくことにより、「スマ
ートフォンを買ったけど使いこな
せない」「買いたけど使えるか不
安」というお客さまお一人お一人
丁寧に最適なサポートを提供する
ものです。

スマートフォンライフをauが
徹底サポート「auスマート
サポート」を提供開始

AQUOS PHONE SERIE



AQUOS PHONE SERIE SHL22
by SHARP

驚きの省電力IGZO&大容量
3,080mAh電池で驚きの電池持
ちを実現。スマホ最高クラスの明
るいレンズや日ごろ感じていた煩
わしさを解消するSHARPならではの
機能を搭載したモデルです。

htc J one



HTC J One HTL22
by HTC

明るいレンズで捉えた光を、色鮮やかに取り
込むHTCだけの大きなセンサーとディスプ
レイ側に配置した2つの大きなステレオス
ピーカーが特徴。フルメタルボディも新鮮な
魅力です。

2 013年の夏モデルとし
て「使いこなす」にこだ
わり厳選した4機種が登場しま
した。
カメラ、動画、音楽、アプリ
などエンターテインメントをは
じめ、おサイフケータイや「かざ
して通信」する規格であるNFC
など生活を便利にする機能を搭

「使いこなす」にこだわり
厳選したラインナップ

URBANO

アルバーノ



URBANO L01
by 京セラ

スマホ初心者の方にも安心して使
っていただける長時間使用可能な
大容量バッテリーと急速充電に対
応。また、従来のケータイに似た
エントリーホーム等見やすさ・
使いやすさにこだわったモデルで
す。

XPERIA UL



Xperia™ UL SOL22
by Sony Mobile Communications

秒間15枚で無制限連写や初心者でもき
れいに撮影できるプレミアムおまかせ
オートで撮影可能。約5.0インチの高
密度なディスプレイはグラビア印刷以
上の美しさです。

載。4GLTEやCPU、電
池持ちなど快適にご利用いた
けるパフォーマンス、持ちやす
さ・デザインにもこだわり、他
社にはないauオリジナルモデ
ルを投入しました。さらに、
auスマートパスやメールの表
示は、ライブ感あふれるタイム
ライン形式に刷新。スマート
フォンライフを楽しく彩ります。
ぜひauショップ・販売店で
各機種をお手に取り、今までに
ない興奮を体感してみてください。

専任チームが365日・24時間
(23:00~9:00は事前予約)
お客さまに対応する「auスマー
トサポートセンター」や、お客さ
まのご自宅に直接伺う「スマホ
間サポート(別途有料)」の他、
ご購入前の不安を取り除くための
「スマホお試しレンタル」など会員
限定特典もご用
意しています。
今後サポート
内容の充実に努め、
より多くのお客さ
まにauスマート
フォンの楽しさ、
便利さをお届けし
てまいります。

お問い合わせ・お申し込みは
お客さまセンターまで

0077-7-111(無料)
[受付9:00~20:00]

auのおススメサービス

大好評！会員数600万突破！（2013年4月現在）

全部コミコミで
月額情報料 **390円** 初回登録日
より30日間
無料

point 1 厳選コンテンツ使い放題

人気ゲームや、便利なツール系コンテンツなど、
豊富なコンテンツが使い放題！



©Studio Ghibli 提供 KDDI株式会社

point 2 ジブリ初のスマホ向け公式サービス「ジブリの森」

※別途、LTE NETまたはIS NETコース(315円/月)のご加入が必要です。
※機種によりご利用になれるアプリは異なります。
※ダウンロードしたアプリ(一部のアプリ除く)は、サービス解約後は自動的に
消去されご利用いただけません。
※スマートフォンは、コンテンツ等によってお客さまが操作していない場合でも
通信を行なうことがあります。

point 3 セキュリティ&サポート

Android™スマホ&タブレットの方は

■安心のセキュリティ機能であなたのスマホをガード！

ウイルスバスター™ for au

不正アプリのインストール防止 危険なサイトへのアクセスをブロック

iPhone&iPad購入時にauスマートパスご加入の方は

■iPhone/iPad購入後2年間の故障(自損・水没)時の修理代金
最大4,400円※×2回分をサポート。

たとえば、Apple Care+ (有料) ご加入なら実質0円で修理可能！

※修理代金はお支払いが必要です。修理終了後に申請いただき、後日返金となります。

※App StoreまたはApple正規プロバイダでの修理受付のみ対象となります。

※修理代金が4,400円未満の場合、修理代金が上限となります。

※故意または重大な過失による場合は、本サポートの対象外となります。

※パケット通信料定額サービスご加入を推奨します。

※4GLTEまたは3G環境でご利用の場合、パケット通信量が規定値に達すると
通信速度を制限させていただきます。

※コンテンツの動作内容等は保証しておりません。KDDIでは責任を負いかね
ますので、あらかじめご了承ください。

point 4 クーポン&ポイント

コンビニ割引券

コーヒードリンク
割引券

... etc.

※クーポンは一例です。実際配信す
るものとは異なる場合があります。

point 5 写真保存&シェア

スマートフォンで撮影
した画像を「au
Cloud」アプリでサー
バーにアップロード。
保存した画像は家族
や友達などにシェアも
可能。

50GB
までネット保存OK!

au Cloud

point 6 あなたにぴったりの情報を配信

最新のニュースや天
気予報をはじめ、暇
つぶしの情報まであ
なたに合った情報を
タイムライン形式で
お届け！



VOICE auスマートパス推進部長 繁田光平

新生「auスマートパス」をぜひ体感ください。

「auスマートパス」は、おかげさまで600万以上(2013年4月現在)のお客さまにご利用いただ
いております。

さらに多くのお客さまにご満足いただけるよう、新生「auスマートパス」では、既にご好評いた
いております。アプリやWEBコンテンツ使い放題、クーポン等に加え、ニュースや天気など日々
の暮らしを豊かにする情報、株式会社リクルートライフスタイルやぴあ株式会社との提携による
オリジナルお得情報等をご提供します。

またそれらをいち早く、わかりやすくお伝えするため、SNSなどでなじみのあるタイムライン
形式で情報更新し、お客さまへお届けします。

ひとりひとりのライフスタイルに沿った最適な情報を提供するサービスへの進化を、ぜひ体
感ください！



株主さま広場

IRカレンダー



個人投資家向け説明会開催のご報告



当社では、より個人投資家の皆さまに当社についてご理解いただけるよう個人投資家向け説明会を積極的に開催しています。2013年3月期は、20回にわたる説明会を通じて個人投資家の皆さまとの対話を進めてまいりましたが、今後もより一層充実してまいります。

KDDI 個人投資家向け説明会

検索

開催情報はKDDIの企業情報WEBサイトからご覧いただけます。

第2回施設見学会のご案内

ご好評いただいた第1回目の「KDDIオープンリンク」の施設見学会に続き、第2回目はP09でご紹介の「千倉海底線中継センター」の見学会を**2013年8月30日(金)**に開催いたします。この機会にぜひ、KDDIグループの成長を支える最先端施設をご覧ください。



当株主通信に同封のチラシで、株主さまアンケートや、施設見学会についての詳細なご応募方法を記載しております。ご参照のうえ、ふるってご応募ください。

株主さまアンケートご協力をお願い

株主の皆さまからのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。皆さまからのご意見は次号の株主通信でもご紹介いたしますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。



<http://104ka.net/>

株主メモ

お知らせ	住所変更その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告 http://www.kddi.com/corporate/index.html ※事故その他により、やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎(0120) 232-711 特別口座に記録された株式に係るお手続きのご請求は、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話番号及びインターネットでも24時間承っております。 ☎(0120) 244-479 (本店証券代行部) ☎(0120) 684-479 (大阪証券代行部) インターネット http://www.tr.mufg.jp/daikou/

『復興特別所得税』に関するご案内

東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)の施行に伴い、2013年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る所得税に対し、以下のとおり追加課税されることとなりますので、ご案内いたします。

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、**2013年1月1日から2037年12月31日まで**、復興特別所得税として**所得税額×2.1%**が追加課税されることとなります。

2013年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率は以下のとおりとなります。

	2012年12月31日まで	2013年1月1日から2013年12月31日まで	2014年1月1日から2037年12月31日まで	2038年1月1日から
所得税	7%	7%	15% (*)	15%
復興特別所得税	-	0.147%	0.315%	-
住民税	3%	3%	5% (*)	5%
合計	10%	10.147%	20.315%	20%

* 2013年12月31日をもって軽減税率の適用終了が予定されております。
● 源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
● 本ご案内は、上場株式等の配当等に係る復興特別所得税について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。

グループの魅力をおとどけ!

vol.1

KDDIを歩く

「千倉海底線中継センター」のご紹介

ワールドカップサッカーやメジャーリーグベースボールの手に汗握る実況をケーブルテレビで観戦。メールやSNS、国際電話で海外の友人と気軽に「ミニムネ」でリアルタイムを通じて地球上に広がる話題をリアルタイムで共有...こうした世界を現実に行っているのは、グローバルに張り巡らされた広帯域・大容量の通信ネットワークです。

ところで、かつて海外からのテレビ中継で見た「衛星中継」という言葉をこの間にか見かけなくなったことにお気づきですか? 今や世界を取り巻く通信ネットワークは、通信衛星を介さず、ほぼ全て光海底ケーブルを経由しているのです。

ここでご紹介する千倉海底線中継センター(千葉県南房総市)は、KDDIが国内4カ所に配する国際海底ケーブル中継拠点の1つ。通信



千倉海底線中継センターの外観



局舎内の光信号処理装置



「SJC」陸揚げ工事で、敷設船から陸揚げされるケーブル

インフラの要衝として、KDDIグループ全体のグローバルICTソリューションを支えています。

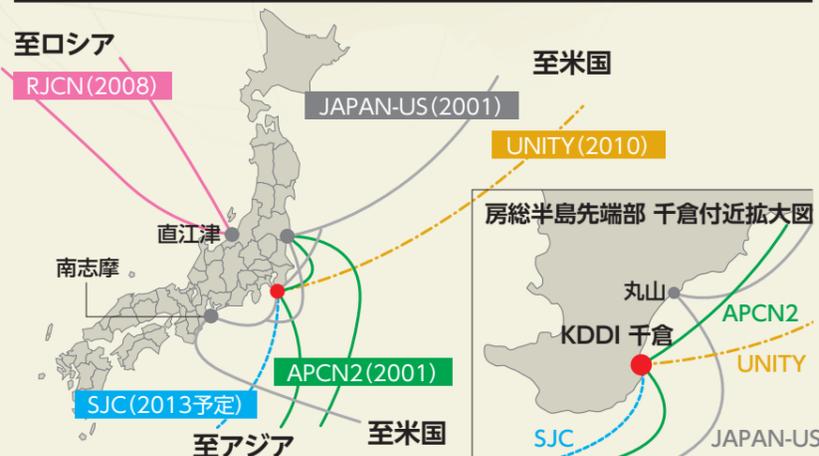
国際海底ケーブルの「ハブ」として機能

2012年11月19日、日本とシンガポールなど東南アジア諸国を結ぶ全長約9000kmの光海底ケーブル「SJC (South East Asia Japan Cable)」が千倉海底線中継センターに陸揚げされました。現在、2013年中の開通を目指して局舎内通信設備の設置工事が進められています。

KDDIが海外オペレーターとの共同出資の形で持つ国際海底ケーブルは、2001年に日米間を結んだ「JAPAN-US」に始まり、「SJC」で5番目の開通となります。光伝送技術の進展で海底ケーブルの通信容量は日々拡大しており、「SJC」の総容量は16Tbps。電話回線(64kbps相当)に換算して約2億回線という規模になりました。

まもなく千倉海底線中継センターは、2010年に日米間をつないだ「UNITY」に「SJC」を接続。米国から東南アジアまでをほぼ直線で結ぶ国際海底ケーブルの「ハブ」として機能します。グローバルな通信インフラ拠

KDDIが出資する代表的な国際海底ケーブル



点として、災害発生などの非常時における稼働維持は必須です。電力会社から予備を含め2系統の高圧給電を受けている他、ガスタービンの自家発電設備も備えています。

このように千倉海底線中継センターは、緑の下の力持ちとして、皆さまの利便性を高め、KDDIグループの成長を支えています。

このたび、「ご案内させていただく「株主さま向け施設見学会」では、株主の皆さまにもっと深くご理解いただくためにこの千倉海底線中継センターのご案内いたします。ぜひこの機会にご参加ください。

P10をご参照

「株主さま向け施設見学会」へのご応募については次頁および同封のチラシをご参照ください。



第1回

KDDIのCSR

インフラとしての機能と環境配慮を両立するために

CO₂排出量と電力消費量を低減するトライブリッド基地局の100ヵ所設置を達成!

KDDIの電力消費量は、その約60%をau携帯電話基地局の使用分が占めています。そして、この基地局の省エネ化は低炭素社会の実現を目指すKDDIにとって、非常に重要なテーマです。

2009年から実証実験を開始し、現在導入を進めているトライブリッド基地局は、この切り札となる存在で、太陽光発電と蓄電池、深夜電力の3つを活用する「**トライブリッド方式電力制御技術**」により、CO₂排出量と電力料金を大幅に低減。停電時の稼働など災害対策においても有効なものとなっています。

第3期中期環境保全計画「KDDI GREEN PLAN 2012」2016年では、2012年度末までのトライブリッド基地局100ヵ所設置を目標に掲げ、達成することができました。

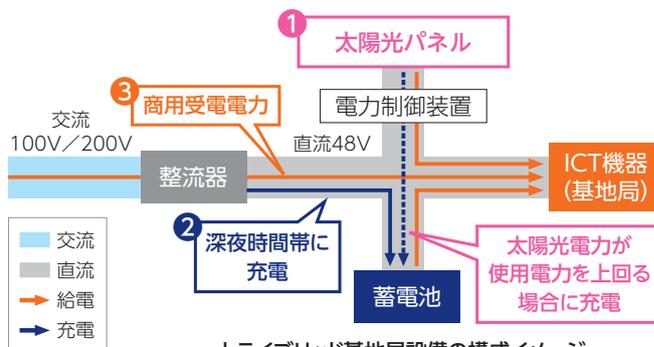
KDDIは、トライブリッド基地局の高度化等により地球環境保全と耐災害性の高い基地局開発に取り組んでまいります。



トライブリッド基地局「春日部南中曽根局」(埼玉県春日部市)

トライブリッド方式電力制御技術とは?

①太陽光発電パネルで発電した電力、②深夜時間帯に蓄電池に充電した電力、③商用受電電力、の3つを制御し、時間帯ごとに切り替えて、基地局への電力供給を効率化するものです。これにより、通常の省電力型基地局に比べ、年間のCO₂排出量を最大約30%、電力料金を最大で約40%削減できます。また、災害発生等で商用電力が途絶えた際は、蓄電池への切り替えにより、基地局の稼働を維持することができます。



トライブリッド基地局設備の構成イメージ

会社概要 (2013年3月31日現在)

- 商号 KDDI株式会社
- 創業 1984年6月1日
- 事業内容 電気通信事業
- 取締役及び監査役 (2013年6月19日現在)

代表取締役会長	小野寺	正
代表取締役社長	田中	孝司
代表取締役執行役員副社長	両角	寛文
代表取締役執行役員専務	高橋	誠
取締役執行役員専務	嶋谷	吉治
取締役執行役員専務	石川	雄三
取締役執行役員常務	井上	正廣
取締役執行役員常務	湯浅	英雄
取締役執行役員常務	福崎	努
取締役執行役員常務	田島	英彦
取締役	久芳	徹夫
取締役	小平	信因
常勤監査役	壺岐	雅隆
常勤監査役	三瓶	美成
常勤監査役	阿部	健
監査役	天江	喜七郎
監査役	平野	幸久

株式の状況 (2013年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 700,000,000株
- 発行済株式の総数 448,481,800株
- 株主数 59,596名
- 大株主

株主名	持株数 千株	出資比率* %	議決権比率 %
京セラ株式会社	57,267	12.76	14.98
トヨタ自動車株式会社	49,748	11.09	13.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,187	4.94	5.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,635	4.15	4.87
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	14,912	3.32	3.90

*当社は自己株式66,269千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。
(注) 株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

株式分割のお知らせ

2013年3月31日を基準日として、普通株式を1株につき2株の割合をもって分割しました。
2013年4月1日からは、**発行可能株式総数 1,400,000,000株**
発行済株式の総数 896,963,600株となっております。

- 「iPhone」「iPad」はApple Inc.の登録商標または商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- 「AppStore」は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標および登録商標です。
- 「Android」はGoogle Inc.の商標です。
- 「ウィルスバスター」は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- 「4G LTE」は、国際電気通信連合 (ITU) がLTEを「4G」と呼称することを認めた声明に準じております。
- 「HTC J one」はHTC Corporationの商標または登録商標です。
- 「XPERIAUL」はSony Mobile Communications ABの商用または登録商標です。
- 「AQUOS PHONE」ロゴおよび、「AQUOS PHONE」、「SERIE」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。

KDDI株式会社

〒102-8460 東京都千代田区飯田橋三丁目10番10号 ガーデンエアタワー
(本店所在地: 東京都新宿区西新宿二丁目3番2号)
<http://www.kddi.com/>

